



社会福祉協議会

すなえい

第12号

平成19年12月25日発行

社会福祉法人
発行 志布志市社会福祉協議会
志布志市志布志町志布志3222-1 (志布志市健康ふれあいプラザ内)
TEL: 472-1800 FAX: 472-1593



有明町・岳野山にて

目次

- * 第2回志布志市社会福祉大会及びボランティアまつりを開催! P 2
- ・ ~第1部~志布志市社会福祉大会
- ・ ~第2部~ボランティアまつり P 6
- * 平成19年度志布志市金婚式開催
- * 障害者戸外ふれあいの一日 P 7
- * 平成19年度赤い羽根共同募金活動報告
- * 輪多市(私)のボランティア P 8
- ・ 松山地区より~松山中学校でほうき作り~
- ・ 有明地区より~絵手紙年賀状作り~
- ・ わたしのまちのボランティア

- * 施設紹介 P 10
- ・ 特別養護老人ホーム「小松の里」
- * 福祉事業紹介
- ・ 重度心身障害者医療費助成制度
- * お知らせ P 11
- ・ 宝寿園から
- ・ 朗読ボランティア「鈴」から
- ・ 曾於地区障害者相談支援センターから
- ・ 心配ごと相談日程
- * 寄附・義援金ありがとうございます P 12
- * 福祉コラム



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

住みやすい・やさしい・福祉の

まちづくりをめざして

「志のまち志布志市」

秋晴れの爽やかな十月二十七日の土曜日、第二回志布志市社会福祉大会及びボランティアまつりが、志布志市文化会館において志布志市、志布志市社会福祉協議会の主催により盛大に開催されました。

市民が福祉活動に参加し、それぞれの力を発揮しながら、可能な限り福祉課題を地域で解決できるように、志布志市の福祉向上を目指して、志布志市の福祉団体、関係機関が一堂に会し第二回志布志市社会福祉大会が開催されました。



表彰を受けられる恒吉頼藏さん

大会では、これまでの地域の福祉向上に貢献された方々や在宅において家族の介護に永年尽くされた方々のこれまでの功績やご苦労に対し十九名の方への表彰や第二回福祉作文・絵画コンクール、第一回ボランティア標語コンクールの入賞者の表彰式が行われました。表彰にあたり来賓を代表され鹿児島県議会中山信一議員、志布志市議会谷口松生議長から祝辞をいただき、日頃の労をねぎらわれました。その後、福祉作文最優秀作品の朗読が行われ、参加された方々は深い感銘を受けられている様子でした。

引き続き、記念講演では、京都大学非常勤講師で、医学博士の岡本香代子先生が「今日から始める若さと健康をつくるウォーキング」と題して、日常の何でもない歩き方を正しく歩くことで健康を保つことができ「大股で十分間、千歩を目標に歩いてください」などアドバイスされ、ウォーキングによる健康増進について講演されました。



被表彰者一同による記念撮影！



熱心に講演をされる岡本香代子氏

午前中は、式典一色でしたが、午
後からボランティアまつりを開催し、
ボランティアの日頃の活動、取り組
みの紹介など様々な形で行われまし
た。(詳細については、P6で紹介
していますのでご覧ください。)



謝辞を述べられる町田益範民生委員

被表彰者 (敬称略)

① 民生委員児童委員として、

八年以上その職務に従事
し、功績が顕著であつて、
現に在職しておられる方

- 坂ノ上 きよ子 (松山町)
- 飛松 真理子 (志布志町)
- 田原 作一 (志布志町)
- 松崎 三朗 (志布志町)
- 浜崎 修身 (志布志町)
- 閨野 節子 (志布志町)
- 木村 陽子 (志布志町)
- 町田 益範 (志布志町)
- 江藏 洋一 (志布志町)
- 田浦 安德 (志布志町)
- 西山 弘子 (志布志町)
- 池田 勝蔵 (志布志町)
- 八久保 八重子 (有明町)
- 久木井 洋子 (有明町)

② 五年以上にわたり、ねた

きり老人、重度心身障害
者(児)等を献身的に介護
しておられる方

- 西留 ヒサ子 (松山町)
- 新村 チリ (松山町)
- 永石 七生 (志布志町)
- 恒吉 頼藏 (志布志町)
- 川畑 菊夫 (有明町)

第二回福祉作文・絵画 コンクール入賞者 (敬称略)

○福祉作文の部

- 最優秀賞
・潤ヶ野小三年 新地 怜奈
「えがおが見たいから」
・松山中三年 上村 真由
「サマーボランティアを通して」
学校賞
・松山小学校・宇都中学校

○福祉絵画の部

- 最優秀賞
・香月小四年 横山翔太郎
「笑顔がきらり」
・志布志中三年 池田佳奈美
「大切な家族 大切な命」
学校賞
・尾野見小学校・志布志中学校
第一回志布志市ボランティア
標語コンクール入賞者 (敬称略)
最優秀賞
・今市 悦子
「世代を超えて 手をつなぎ
あう ボランティア」



作文朗読をされる
潤ヶ野小学校3年 新地怜奈さん

第2回 志布志市福祉絵画コンクール 最優秀賞作品紹介



志布志市立
志布志中学校 3年
池田 佳奈美
さん

福祉絵画コンクール 中学校の部
最優秀賞

「大切な家族 大切な命」



志布志市立
香月小学校 4年
横山 翔太郎
さん

福祉絵画コンクール 小学校の部
最優秀賞

「笑顔がきらり」

第2回志布志市

福祉作文コンクール

最優秀賞作品紹介

最優秀賞

小学校の部

えがおが見たいから



志布志市立
潤ヶ野小学校 三年
新地 怜 奈さん

「れいな、これをあらってき
て。」

母がわたしにさし出したのは、
ばあちゃんの入ればだった。き
たないからいやだなあと思った
わたしは、へんじをせず聞こえ
ないふりをした。すると、母は
だまって入ればをあらいに行っ
た。

ばあちゃんは、わたしが生ま
れる前に、のうこうそくでたお
れて体が思うように動かなくな
った。年ねん体は弱り、つえで
歩いていたらばあちゃんが車いす

生活になり、今では、ねたきり
になってしまい入院している。

「あいたよ。あいたよ。」
と、とこずれができていたがる
ばあちゃんの声は、病室の外ま
でひびいている。そんな時は、
「どこがいてとよ。ここか。」
とじいちゃんがやさしく体をさ
すり、こしの所にまくらを入れ
てあげると、ばあちゃんは、

「ありがとう。」
とうれしそうな顔をする。
今は、ねたきりになって思う
ように動けなくなったばあちゃ

よ。」
と声をかけると、うっすら目を
開けて、

「れいなか。」
と言った。わたしは、うれしくて、
「お母さん、聞いた。れいなっ
て言ったよ。」

と母の顔を見ると、母の目には、
なみだがたまっていた。そんな
すがたを見たら、わたしもなみ
だがあふれてきた。ばあちゃん
が気づいてくれたうれしさと、
母のなみだと、そして、自分の
はずかしいだに、しぜんとな
みだがながれてきたのだ。

それからわたしは、自分で
できることは何かないかと考えた。
病室のゴミをひろったり、お茶
をいれたり、かみをとかしたり、
つめをきったり・・・そして、
入ればをあらったり。

これからは、わたしにできる
ことはなんでもやりたいと思う。
だって、わたしにとって大切な
大切な、大好きなやさしいばあ
ちゃんのエがおが見たいから。

原文のまま掲載しております

サマーボランティアを通して



志布志市立
松山中学校 三年
上村真由さん

私がサマーボランティアに参加するのは今年で三度目です。私がこのボランティアに参加しようと思った理由は、福祉の仕事に興味を持ったからです。ボランティアをするところは特別養護老人ホームです。三度目といてもまだまだ慣れません。お年寄りの方と話をすることもろくにできません。私はこれでボランティアとして職員の方々の手伝いができるのかと思いません。

まずは室内を案内してもらおうと特別養護老人ホームなのでお年寄りの利用者の方々のために全てとっていいほど設備が整

っていました。このサマーボランティア体験で行ったことはいろいろありました。離床、移動、食事等の介護、入浴介助、利用者との交流です。車イスの移動などは意外とスムーズにできました。食事の介助は、自分で食べられない人のために口に運んであげます。食べ物もいろいろありました。かむことの難しい人には、全部をミキサーにかけて食べやすく小さくします。食事介助ではおいしく食べていたでいてうれしかったです。入浴の手伝いは、入浴後の水分補給と髪の毛をドライヤーで乾かしてあげる手伝いでした。みなさ

んさっぱりしてお風呂から出て来てとても気持ちよさそうでした。久しぶりのお風呂だからかななど思いました。老人ホームでは、一日おき順番に数十人しか入れません。そしてお風呂上がりに飲むポカリも飲み終わってもらえてうれしかったです。

私が一番難しかったのは利用者との交流です。利用者の方は耳の遠い人が多いです。この時は、職員の方々にもお世話になりました。

職員の方が話をすることがきつかけとなり自慢の歌や、昔の話などをたくさん聞かせてもらいました。

このサマーボランティア体験活動を通して介護福祉の仕事は体力を使い、夜間の仕事もある、とても大変な仕事だと感じました。

この仕事を全部手伝ったわけではありません。まだ私たちがした他に、シーツ等の交換、オムツ交換、洗濯などを毎日やっていると思うとても体力を使い、大変なことだと感じます。

私たちがこの体験活動でしたことは一部です。食事を作る人も一日六十人ほどいる人の分を作らなくてはなりません。とてもきついです。ずっと急いで走ったり、介護したりのくり返します。イスにすわっているひまなんでありません。でもこれが仕事です。

自分がなりたい、人を助けてあげたいと思っただけの仕事だと思えます。だから職員の方々も笑顔なんだと思います。この三度目の体験活動を無駄にしないように、人に優しくすることや、困っている人がいたら助けてあげるなど心がけて毎日を通じていき、普段の人間関係で、言葉遣い、人との接し方に気をつけることを目標にこれから役立てていきたいと思えます。つかれたけど勉強になったサマーボランティア体験学習でした。

原文のまま掲載しております

第二部 ボランティアまつり



特産品販売風景

十月二十七日(土) 志布志市文化会館で、午前中の福祉大会に引き続き、午後より第二部・ボランティアまつりを開催しました。

当日は福祉大会を終えると同時にボランティアまつりへの繋ぎ役として、松山町のボランティアの方々が「チャリティバザー」を開店。そして志布志市地域女性連絡協議会志布志町支部が「うどんコーナー」を開店。NPOの地域防災連絡協議会のAED体験コーナーでは、県の防災センター職員との協力でAED体験実施と、それぞれの催しを開催しました。

午後の部が開幕し、自然を守り育てるボランティア活動をしている、志布志町の「前川清流会」と、子



AED体験

供から高齢者を対象として読み聞かせのボランティア活動をしている、松山町の「ピッコロ」による活動事例発表がありました。そして、舞踊でボランティア活動をされておられる志布志町の五社中の団体が、それぞれに各一曲ずつ華やかに舞いを披露されました。

館内では、各ボランティア団体によるスタンプリリー(ゲーム・福祉体験・展小・試食)や、福祉施設等(もっこく・夢しずく工房・更生保護女性会)による特産品販売や各種相談コーナー、日赤の非常食炊き出しなど盛り沢山のコーナーを設けました。後半の行事では、大道芸人ジャグラーの東山祐貴さん(専門学校生)が中国コマを操る芸を披露してくださり、鮮やかな手さばきに観客の目を釘付けにしていました。ボランティアまつりの最後は、有明町のボランティアなかよしによる「ミニミニサロン」を元気のある楽しい寸劇を交え、会場の方々と一緒にリズム体操や歌を唄い会場を盛り上げました。

来年度は、もっと多くの市民の皆様が来場していただけたらと思います。



志布志町舞踊ボランティア

平成十九年度 志布志市金婚式開催

十一月二十一日(水)、平成十九年度志布志市金婚式がボルベリアダグりで開催されました。金婚を迎えられたご夫婦は市内では百三十一組で、そのうち八十八組がご出席されました。

まず雅楽の奏でる中、神前にておごそかにお二人揃ってお神酒を受けられ、その後記念撮影をされました。祝賀会では、主催者を代表して、

本田修一市長・社会福祉協議会会長が金婚を祝い、ますますの長寿を願うよう挨拶をされ、各町参加者より久木井和昭・洋子ご夫妻(有明町)、岩田瑞穂・マキ子ご夫妻(志布志町)、松原武文・ツヤ子ご夫妻(松山町)が代表で祝詞と記念品を受けとられました。



お神酒の席にて

その後、谷口松生議会議長の来賓祝辞、蔵園修文福祉部長の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。祝宴では、祝儀の舞・舞踊を春日流寿友会の皆様披露され、また、愛ゆみ幼稚園、おおぞら保育園の園児達の見事な太鼓演奏や踊りに加え、

太鼓の音に負けない程の元気な声でお祝いして、参加者はとても感激していました。



園児と一緒におはら節

その後は結婚五十年間の夫婦の思いがこめられたメッセージが紹介されたり、カラオケや踊りも多数あり、大いに盛り上がりしました。参加者からは、「来て良かった。元気がでた。また明日から農作業がでくらしい。あいがとな。」と言っていたいたり、たくさんのお礼がとうとうという言葉があり、皆様にとって良き思い出の日となったのではないかと思います。金婚式を迎えられた皆様、いつまでもご夫婦仲良くお元気で過ごして下さい。



夫婦揃ってカラオケ

障害者戶外ふれあひの一日

おだやかな晴天のもと、十一月十一日(日)に重度の視覚・下肢障害の方とその付き添いの方十四名とボランティア・関係者が十一名で開催しまして、同日開催されましたやっちく秋の陣まつりに参加しました。

まつり会場へ着くと、早々に家族やボランティアさんの付き添いでお店を見て回ったり、買い物を楽しんでおられ、初めてやっちく秋の陣まつりに来てみたと言う方もいらっしゃいました。

昼食は、会場内で出店している松山町内のお店から、うどんやカレーなどを参加者皆さんで色んな会話をしながら味わい、『やっばり、大人気で食事すると楽しいし外だし美味いね』と楽しんで食事をされました。のんびりと昼食を終え、午前中に回れなかったお店や志布志市内の特産物や工芸品など興味津々に眺めたり、買い物されたりしていました。



山本リンダを間近で

そして、まつりでも注目の、山本リンダショーが始まると皆さん前方へ場所を取り、初めて見る方もおられ懐かしい曲を口ずさむ方や楽しいトークなどに喜んでおられました。楽しめた様でした。

ショーも終わり、全員揃っての記念撮影では皆さん笑顔での記念の一枚となり、良い思い出になったのではないかと思います。

『是非、次回も参加したいから又連絡下さい』や『こんな一日なら、どんだん外へ出たいからよろしくね』などと参加者は、このふれあひの一日に満足されておられる様子でした。

来年は、もっと、多くの方に参加してもらい交流を深めて頂きたいと思えます。



大手門前にて記念撮影

赤い羽根共同募金活動

「やっちく秋の陣まつり」

十一月十一日(日)、松山町で開催された「大隅の國やっちく秋の陣まつり」会場において、松山中学校生徒による募金活動や社協の『あつたかコーナー』テントにおいて、中原長門先生の水彩画販売、高齢者手芸クラブの手芸品販売や松山町ボランティアグループのバザーなどが行われ、一部または全額を共同募金へ寄付していただきました。



募金総額

一〇四、六三二円

「チャリティゲートボール大会」

十二月八日(土)、スポーツを通じて楽しみながら共同募金に協力していただくことを目的に、第十七回共同募金チャリティゲートボール大会が開催されました。当日は、二十一チーム、百十九名の方の参加を頂き、大いに盛り上がりました。多数の参加とあたたかいご協力で厚く御礼申し上げます。



～募金総額～
87,278円

多数の善意とご協力、誠にありがとうございました

共同募金会
志布志市支会会長表彰

前川清流会

前川清流会は、志布志町前川の環境を守るボランティア活動をされておりありますが、設立当時の二十年前から会員の交流親睦を図るために、チャリティソフトボールを毎年開催され、その益金を旧共同募金会志布志町分会、共同募金会志布志市支会に毎年寄附され、本市の福祉の増進に寄与された功績で本田修一会長より感謝状の贈呈がありました。



表彰のようす

～ボランティアセンター便り～

松山地区より

松山中学校でほうき作り

去る十月二日（火）、松山中学校一年生が、「総合学習」の授業で『地域の人とふれあう』をテーマに、町内の中山光頼さん・和田清森さん・中吉清一さん・早崎辰巳さんの四名をボランティア講師に招き、ほうき作りに挑戦しました。



これ、以外と難しいんです…。

ひとりの力は弱いけど…!?



最後に広げて出来上がり！



まだまだ、足りんがあ～

生徒一人一本のほうきを作ること为目标に、各自ほうきの穂となる竹を集め、講師の指導の下、穂先を揃え針金で強く縛るという作業をしました。穂が短すぎたり、少なかつたりして「まだほっぽ（穂のこと）を集めて来なさい」と指導されてやり直しも多々…。穂だけみていると十分な長さのように感じるのですが、いざ持ち手の竹と併せてみると不釣り合いなのがわかったりと、簡単なようで難しい作業でした。

買い求めて手に入る物よりも、地域の人とふれあい学びながら作ったことで、物の大切さや愛着心が生徒の心に育ったとてもよい体験となったようです。

有明地区より

絵手紙年賀状作り

十二月四日（火）、ボランティアなかよしの交流会を開催し、末吉町の河合泰先生の指導を仰いで、『絵手紙年賀状』を作成しました。



筆をはしらせる音だけ…が。

「葉書から、はみ出してもいいから大きく、よく見て描く」という先生の指導を受けながら、来年の干支のねずみや正月にふさわしい題材を選んで、一心に筆をはしらせていました。



なるほど～さすが、先生！

会員のみなさんの力作は、有明町在住のひとり暮らし高齢者の方々が、明るいお正月を迎えられるよう年賀として発送されます。この絵手紙年賀状を受け取られ、少しでも高齢者の方々が暖かい気持ちになっただけならと思います。



どーです、このすばらしい出来映え。

輪多市 のボランティア

わたしのままのボランティア

志布志市ジュニア・リーダークラブ

高校生クラブ

「志布志市ジュニア・リーダークラブ（中学生）及び志布志市高校生クラブ（高校生）」は平成十八年一月の合併を機に志布志・有明・松山の中・高校生が主にボランティア活動を行うために結成されたグループです。

現在、会員数がジュニア・リーダークラブ約二十名、高校生クラブ約三十名で、市内で行われる各種イベントにお手伝いとして参加しています。

また、他の市町村の中・高校生とも交流を図り、活動内容等について情報交換を行い、よりよい活動を目指しています。

ボランティアに行く先々で、いろんな方から「がんばってるね。」と声を掛けられることが原動力になり活動に取り組んでいます。

土・日曜日に活動があり、遊びたい気持ちを抑えて行く日もあります。人のために何かの役に立ち、また喜んでもらえるという貴重な経験ができることにやりがいを感じています。まだまだ会員を募集しています。



老人ホーム交流会にて



小・中学生のまとめ役としてキャンプに参加

興味のある中・高校生は志布志市教育委員会（四七二一―一―一）（内線三三三六）まで御連絡ください。

※輪多市とは「多くのボランティアの輪を志布志市に広めましょう」の意味です。

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償！



特徴

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 防災・災害のボランティア活動も補償
- ボランティア自身の食中毒や熱中症も補償
- 地震等天災によるケガも補償（天災タイプ加入の場合）

ボランティア行事用保険

ボランティア行事に参加中のケガや賠償事故を補償！

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャー等の活動中のケガや賠償事故を補償！

送迎サービス補償

送迎サービス中の交通事故によるケガを補償！

掛金 | Aプラン…280円 Bプラン…460円 Cプラン…650円
天災危険補償タイプもあります

お申し込み、ご照会は、志布志市社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 **全国社会福祉協議会**

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関3-3-2新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

<http://www.fukushihoken.co.jp>

<引受幹事会社> 日本興亜損害保険株式会社



平成19年10月3日
秋の遠足1班(港公園)



平成19年8月5日
小松の里夏祭り



平成19年10月14日
秋の遠足2班
(伊崎田相撲見学)



平成19年8月5日
小松の里夏祭り



平成19年10月17日
秋の遠足3班(高千穂牧場)



平成19年11月4日
小松の里運動会

小松の里は、開園二十七年目を迎えた特別養護老人ホームです。有明町小松集落の大変静かな環境の中にあります。当園は、開園以来、地域の方々に施設を利用して頂くこと、また入居者が地域の一員として社会参加されることを望んでまいりました。

例えば、夏祭りや運動会には家族はもちろん、地域の方々が参加して下さり、一緒に楽しめます。

遠足やショッピングに出かけることは、入居者の方々の楽しみであり、十月に行われた伊崎田相撲を見に行かれた方など大変に喜びようでした。

これからも、地域の中の施設として、多くの方々に小松の里を利用して頂きたいと思っております。そしてなによりも入居されている方々の安心・安全な生活を守り、さらには、楽しく生きがいをもてる生活を支援していききたいと思っております。



平成19年4月7日
春の花見2班(平和公園)



平成19年4月3日
春の花見1班(開田の里)



平成19年4月7日
春の花見2班(平和公園)



平成19年4月7日
春の花見2班(平和公園)



平成19年5月16日
春の遠足2班(鹿屋バラ園)



平成19年5月30日
春の遠足3班(仙巖園)

所在地：志布志市有明町
野井倉2006番地1
☎ 099-474-0808

福祉事業紹介

「重度心身障害者

医療費助成制度について」

1 内容・・・
 重度の身体障害児(者)や知的障害児(者)の方が、医療保険各法及び老人保健法による医療を受けた場合に、その医療費の自己負担分を助成します。

2 対象者・・・

- (1) 身体障害者手帳の等級が、一級・二級の方
- (2) 身体障害者手帳の等級が三級で、知能指数が五十以下の方(療育手帳B1をお持ちの方)
- (3) 療育手帳A、A1、A2をお持ちの方

3 手続き等・・・

- (1) 市役所福祉課において受給資格者登録・・・印鑑、保険証、身体障害者手帳もしくは療育手帳、郵便局以外の通帳が必要です。
- (2) 医療機関で一部負担金の額の証明をもらうか、また



■問い合わせ先.....

担当：福祉部福祉課

有明本庁 障害福祉係
474-1111 (内線174)
 志布志支所 障害福祉係
472-1111 (内線203)
 松山支所 福祉係
487-2111 (内線272)

- (3) は保険点数のわかる領収書を添えて市役所福祉課に申請、請求します。申請した翌月の末までに登録した通帳に振り込まれます。ただし、高額医療等の関係等により遅れることがあります。

宝寿園からのお知らせ
「皆笑顔でさっばり」

宝寿園では、散髪ボランティアとして、鹿児島県理容環境同業組合曾於支部志布志地区の会員の方々が多忙な日々の休憩日の二ヶ月に一度、入園者を散髪して頂いています。このボランティアは、長年続けられています。

ボランティアの皆さんは、いつも笑顔絶やさず、「宝寿園の入園者に会えるのが楽しみ」と自然体で接してられます。入園者も散髪してもらいながら、昔話に会話が弾み、あちこちで笑い声が園内へと響きわたります。

そんなボランティアの方々とお話をするの入園者は、二ヶ月に一度の散髪の日ですが、待ちに待っております。

◆散髪ボランティア

鹿児島県理容環境同業組合
曾於支部志布志地区

代表 杉山 孝一 他



朗読ボランティアに
参加しませんか？

「朗読ボランティア」とは、市内の視覚障害者の方へ、「市報しぶし」を『鈴』の会員が朗読録音し、お届けするボランティアのことです。利用されている方も、毎月の「声」のお届けを楽しみに待っているようです。

評判が評判を呼び、利用される方も少しずつ多くなってきました。

そこで、テープのお届けと回収及び録音のお手伝いをして頂けるボランティアの方を、募集します。

録音は、一週間でテープのお届け場所は志布志市内です。

『鈴』の会員の方と一緒に楽しくボランティア活動をされませんか。詳しい事は、左記にお問い合わせ下さい。

◆志布志市社会福祉協議会
ボランティアセンター

四七二一八〇〇
担当・永富

曾於地区障害者相談支援センターのお知らせ

曾於地区障害者相談支援センターは、平成十八年十二月に志布志市役所志布志支所に開設しました。

支援センターは障害をお持ちの方やそのご家族が何でも相談できる窓口です。皆様が、地域で安心して自分らしい生活が出来るように、お手伝いいたします。また、来所・電話による相談、その他必要に応じては、訪問によるご相談もお受け致します。

相談につきましては、無料で、秘密は厳守致します。気軽にお越し下さい。

- 【例】
- 日常生活における悩み事、心配事など
 - 就労に関する悩み相談
 - 福祉サービスの利用について



障害者相談支援センター風景

心配ごとがありましたら…

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

1月・2月の日程

志布志本所

(志布志市健康ふれあいプラザ内)

相談日は毎週水曜日
【※1月2日(水)はお休み】

松山支所

(志布志市老人福祉センター内)

相談日は
第1、3火曜日
【※1月は第2・4火曜日】

有明支所

(志布志市市民センター)

相談日は
毎月5日・20日
【※1月は7日・21日】

相談時間 10:00～15:00

- ・開所日時 月曜日～金曜日
① 九時～十二時
② 十三時～十七時
- ・開所場所 志布志市役所
志布志支所一階
- ・連絡先 四七二一八〇〇
(内線一一二)
- ・担当者 吉田 優

皆様の善意に感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。頂きましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

(平成十九年十一月一日から平成十九年十一月三十日受付分まで)
自治会名 寄附者名 物故者名

松山支所受付分

(敬称略)

- 前田 増田マツ子 故兼盛
- 有野 有野あさ子 故學
- 西馬場三區 立山春雄 故公代
- 下井手口 津曲福義 故ミエ
- 上中村 田中己年生 故哲郎
- 内之野 吉留ヨリ子 故忠孝
- 川端 岩切辰矢 故チカ

志布志本所受付分

- 松原 寺岡孝徳 故クニ
- 町原 古川春男 故チドリ
- 上天神 粟津國春 故二郎
- 下宮内 竹井謙市 故ヨネ
- 馬見ヶ塚 和田茂治 故フミ子
- 町原 有川啓子 故養谷たまえ
- 上田屋敷 木村スズ子 故秋男
- 香月 松清紘子 故勲夫
- 志布志巖 岩見ミエ子 故昭

- 島根県 横峯芳房 故セキ
- 紺屋 谷 節子 故廣務
- 馬庭 安樂義照 故ミキ
- 上小西 又木ノシエ 故忠男
- 中宮 外山節子 故智
- 夫墨丁吉 取附正一 故ノリ子
- 南大原 町田勝弘 故國子
- 下有明 山下千沙子 故鋭一
- 上昭和 石原 学 故ゆき
- 横尾上 古城ラシカ 故初
- 中宮 松山弘子 故農夫男
- 北大原 衛藤愛子 故政行
- 香月 岡野チヨ 故廣
- 寿住宅 岡屋 武 故春男
- 道重 坪山和子 故義信
- 宇都 古江孝太郎 故信子

有明支所受付分

- 高井田 高吉恒憲 故フクヨ
- 下方限 穴見カヨ 故サタ
- 下馬場 徳脇エツ子 故カスミ
- 東原西 砂川ツル 故歳雄
- 曲 瀬 大廻昭幸 故ユキ子
- 伊崎甲野 下木正文 故政雄
- 押切東 前畑 始 故彰之助
- 高井田 福永ひとみ 故高吉チエ子
- 水之谷 水口良治 故イネ
- 東原東 後藤清美 故田中ミチ
- 久木迫 内山正一 故ヨネ
- 宮 塩 小平ナツエ 故良告
- 上普現堂 大堀忠雄 故末武
- 檜ヶ原 宮畑ナリ 故誠

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会に

ご寄附を頂きました。地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

松山支所受付分

(敬称略)

志布志市商工会女性部
やっちく秋の陣祭り売上げより
一〇,〇〇〇円

志布志地区受付分

・児島力チエ 一,二二八円
・匿名 二,〇〇六円

有明支所受付分

・菅牟田 菅牟田和子 四,〇〇〇円

物品寄附

志布志地区

・興和 山口善朗 本 一冊

災害義援金

新潟県中越沖地震被災者義援金

次の方々より新潟県中越沖地震被災者(地)の助けになればと義(救)援金が寄せられました。日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。

松山支所受付分

(敬称略)

・やっちく秋の陣祭り募金箱
一、四一四円

福祉コラム

松山支所長 山元 加代子

早いもので、二〇〇七年も残すところあとわずかとなり、そろそろ大掃除に取り掛かる頃でしょうか。皆さん、どんな一年でしたか。猪のように猪突猛進で過ごされた方はいませんか？

かく言う私も、『社会福祉協議会』は市民みんなが知っている団体と思い込み、猪突猛進してしまつたような…。

『社会福祉協議会』、「よく耳にはする組織名だけど、一体どんな団体で、何をしているの、だろう。」と、思ったことはありませんか？まだまだ周知不足のようなので、このコラムの場を借りて改めて、PRさせて頂くことにしました。

『社会福祉法人社会福祉協議会(略称で「社協」といいます)』は戦後まもない、昭和二十六年に全国・都道府県で誕生しました。その後、市町村へと組織を拡大していき、鹿児島県では昭和三十三年までに全ての市町村に設置されました。

「社会福祉を目的とする事業の企画及び実施と社会福祉に関する活動への住民参加の

ための援助を目的とする団体」として位置付けられています。簡単に言えば、地域が抱えている様々な福祉問題(介護サービス・小地域での福祉ネットワーク活動・ボランティア養成など)を、みんなで作って、話し合い、協力して解決していくことを主に活動している『※非営利団体』です。

運営は、地域の皆様からいただく社協会費、県や市町村の補助金、赤い羽根共同募金の配分金によってまかなわれています。

地域の皆様のご協力・ご支援があつての社協です。「誰もが安心して暮らせる街づくり」を目指し市民の皆様方の、福祉への様々な声を元に、福祉活動に取り組んでいきたいと考えております。

来年は「子年」、ねずみのように元氣よく動き回り、市民の方々の理解を頂きながら社協を広めて行きたいと考えております。

新年も変わらぬご支援、よろしくお願致します。

※非営利 事業によって得られた利益を団体構成員に分配することはない